

中日ドラゴンズ 新屋内練習場・ 合宿所「昇竜館」



所在地：愛知県名古屋市中川区露橋2丁目12-69
 〈屋内練習場〉
 延床面積：4,922.88㎡
 構造規模：鉄骨造、地上1階一部2階建
 〈合宿所〉
 延床面積：1,958.22㎡
 構造規模：鉄筋コンクリート造、地上4階建
 設計監理：(株)日建設計
 施工：建築/鹿島建設(株)名古屋支店
 電気/(株)トーエネック
 工期：平成15年2月～平成15年11月

中日ドラゴンズのふるさとナゴヤ球場に隣接して新設された「中日ドラゴンズ新屋内練習場・合宿所」。屋内練習場の照明はナゴヤドームの内野と同等の照度を確保しながら不快なグレアを低減しています。

ナゴヤドームの内野を参考に設計された 50m×50m広さの屋内練習場

“Road To Victory”(栄光への道)、2004年度のキャッチフレーズを掲げ、日本一を目指す中日ドラゴンズに、昨年11月に新たに「新屋内練習場・合宿所」がナゴヤ球場敷地内に完成しました。

新屋内練習場は50m×50mの広さをもつグラウンドで、併設のピッチング練習場は5人用に増設され、バッティング練習場(3人用)も新設されました。さらに、トレーニングルームの面積を拡大させ、多目的室を2階に新設するなど、付帯施設も充実させています。

合宿所は、屋内練習場に隣接して建設され、従来の合宿所より延床面積が広がったにもかかわらず、寮室数を減らして1室当たりの面積を12球団で最大の広さにするなど、屋内練習場と共に施設の充実が図られています。

1kW矩形配光投光器を配置し、高照度を 得ながらグレアを低減

屋内練習場の照明は、ナゴヤドームの内野を参考に設計され、練習時にもドームでプレイするのと同じ緊張感をもたすよう、近似の光源や同等照度レベルが採用されています。光源には高効率な金属ハライドランプを採用し、演色性(Ra:70)を考慮しつつメンテナンス性の観点から、投光器のサイドからランプ交換が可能でメンテナンス用足場からランプ交換ができる1kW矩形配光投光器を選定し、ナゴヤドーム内野照度と同等の2,500lxを確保しながら投光器からのグレアを低減させています。

ピッチング練習場・バッティング練習場には、屋内練習場と同じ種類の光源と投光器が選定使用されています。

合宿所の照明は落ち着いた雰囲気を創るため、電球色などの比較的低色温度の低い光源を中心に採用し、インバータ内蔵のダウンライトやシーリングライトを選定して省エネ性、かつ居住性を重視した照明環境を実現しています。

また、屋内練習場の2面の外壁面にはドラゴンズチームと新聞社のロゴが別々に設けられており、このロゴが新幹線の窓からよく見えるよう1kW中角配光投光器によりライトアップされています。ライトアップ用投光器は現場施工の照明ボックスに内蔵させ、容易に触れることができないよう安全性を考慮した工夫がなされています。

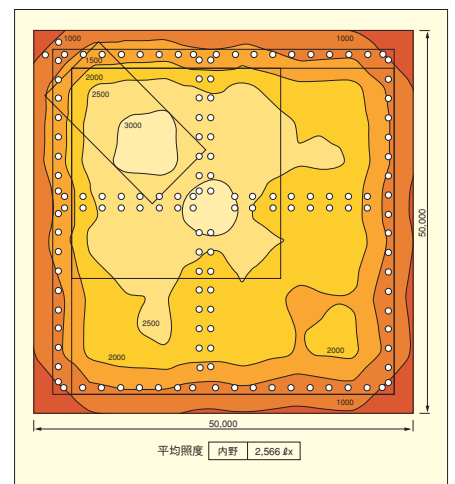


屋内練習場の照明：1kW金属ハライドランプ矩形配光投光器を採用し、高照度を確保しながらグレアの低減を図っている



合宿所「昇竜館」1階食堂の照明

●屋内練習場の照度分布図



■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ	
屋内練習場	投光器	MT-10014	193	1kW金属ハライドランプ	
合宿所	ラウンジ他	ダウンライト	FHD-31501	72	32Wコンパクト形蛍光灯ランプ
	寮室	シーリングライト	FPH76000EL	25	32W+20Wサークライン
	食堂他	埋込器具	FHR-34310-PR	14	32Wコンパクト形蛍光灯ランプ×4
ライトアップ	投光器	HT-15263M	8	1kW金属ハライドランプ	